

今は未来のためにある ～ Time is Money ～

No.25 令和6年10月30日 発行者;校長 小倉 大二

【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、
思いやりの心を持ち、
新たな価値創造に挑戦する中で、
母校への誇りをはぐくむ生徒の育成

がっこうじょうほうかにんていせいど ゆうりょうこう 学校情報化認定制度「優良校」に！



げんざい まつ が えちゅうがっこう ぜんしよくいん いっ ちだんけつ きょういく
現在、松ヶ江中学校では、全職員が一致団結し、教育DX(デ
ジタル・トランスフォーメーション)に取り組んでいます。その取組
が認められ、本年度の日本教育工学研究協議会(JAET)の
「学校情報化認定制度優良校(教育の情報化に総合的に取り
組み、情報化によって教育の質の向上を実現している学校)」
に認定されました。北九州市立の63ある中学校では初で、とて
も 誉め なことです。

れいわ ねんど こうこう じょうほうか しんせつ ほんねんど だいがくにゆうがくきょうつう じょうほうか
令和4年度から高校では、「情報科」が新設され、本年度の大学入学共通テストから「情報科」
が組み込まれます。このように、学校教育の中で「デジタルスキル教育」が重視され始めています。

わたし せいかつ ふ かえ りよう じゅうみんひょう しゅとく
私たちの生活を振り返ってみても、マイナンバーカードを利用したコンビニでの住民票の取得、
じどうしゃ じどうあんぜんそうち じどううんてんきのう むじん か さまざま
自動車の自動安全装置や自動運転機能、ストアの無人レジ化、サッカーはじめとする様々なスポー
ツの ICT を活用した審判補助等、至る所で DX が進んでいることが垣間見られます。確実に
Society 5.0(仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題
の解決を両立する人間中心の社会)の到来を感じられる今日この頃です。

きた みらい む がっこうきょういくげんば ひと りいちだい たんまつ どうにゆう かつよう きょういく
来る未来に向け、学校教育現場も一人一台タブレット端末が導入され、ICTの活用、教育DXの
推進が求められています。そのような学校改革が進む中で、本校の取組が評価されました。4月よ
りも5月、5月よりも6月、1学期よりも2学期という風に、確実に先生方、そして、生徒たちの ICT
活用スキルが上達しています。また、それに伴い、ICT機器を活用しての記録保管、情報共有、
じょうほうはっしん いま まな かた がくしゅう てんかい
情報発信など、今までにない学び方での学習も展開しています。

きたきゅうしゅうしはつ ゆうりょうこう な は こんご きょういく すす
この北九州市初の優良校の名に恥じないよう今後も教育DXを進めてまいります。



がっしょう

合唱コンクール

10月29日(火)に合唱コンクールを開催しました。当日は、多くの保護者等にも参観いただきました。生徒たちの励みになったのではないかと思います。

当日は、各学年、学級対抗のクラスマッチ形式で合唱コンクールを行いました。各学級、課題曲と自由曲の2曲を披露し、審査を受け、金賞を決めました。各学年の金賞受賞学級は1年2組、2年3組、3年1組でした。

クラス	かだいきょく 課題曲	じゅうきょく 自由曲
3年1組	ぼく 僕らまた	せいかい 正解
3年2組		とも たびだち とき 友～旅立ちの時～
3年3組		ソランジ Soranj i
2年1組	はな 花になれ	この星にうまれて
2年2組		あした 明日へ
2年3組		いのち は 生命が羽ばたくとき
1年1組	ビリーブ Believe	マイ バラード
1年2組		レッツ サーチ フォー トゥモロウ Let's Sarch For Tomorrow
1年3組		へいわ かね HEIWAの鐘

3年生にとっては、
3度目の最後の合唱
コンになりました。



声を揃えるためには、お互いの声を聴く必要があり、コミュニケーション能力や協力の大切さを学ぶことができます。合唱コンクールに向かう取組の中で、音楽の技能の向上だけでなく、クラス全員が一つの目標に向かって力を合わせる経験ができたのではないのでしょうか。その他にも、一人一人が努力し、達成感を味わえたり、仲間への信頼感や連帯感を深めたりすることもできたのではないかと思います。また、計画を立てて取り組んだり、失敗を乗り越えたりする中で、リーダーシップやフォロワーシップの重要性を学ぶこともできた人もきっといると思います。

これらの「協力」「達成」「感動」などは、とても大切な経験です。きっと、多くの生徒にとって中学校生活の思い出として心に残る貴重な経験になった合唱コンクールでした。